千葉市立第二特別支援学校
学 校 だ よ り
令和8年6月22日
第 3 号

こ ば と

校歌に込めた願いを想う

教頭

学校名が変わっても、変わらずにあるものの一つが校歌です。

校　歌

向後　　正　作詞
石井　珠子　作曲

一　外に飛び出せ　自分の足で　　力強く　ここまでこいと
　　明るい空が呼んでいる　　ぼくも　わたしも　みんなみんな

二　ぼくの力は　伸びると信じ　　胸を張って　元気をだして
　　手をとり合って学び合う　　ぼくも　わたしも　みんなみんな

三　だれもができる　ひとりでできる　　ひとつひとつ　自信をつけて
　　強い子どもになれるんだ　　ぼくも　わたしも　みんなみんな

私は、この校歌が大好きです。本校の校歌には、子どもたちに「こう育ってほしい」という、創立当初からの深い愛情と熱い思いを感じるのです。

一番の歌詞。明るい未来（空）に向かって、自らの意志で一歩を踏み出すたくましさを身につけてほしいという願いを感じます。また、「明るい空」には、誰もが明るい社会であれという希望も感じます。

二番の歌詞。自分の可能性を信じること。今の姿に胸を張ること。そして、一人ではなく、仲間と互いに助け合い、高め合いながら成長していく姿勢の大切さを感じます。

三番の歌詞。最初からすべて上手くできる子はいません。失敗を恐れずに挑戦し、小さな「できた！」を積み重ねていくことを励まし、応援しようといった願いを感じます。

また、すべての結びにある「ぼくも わたしも みんなみんな」というフレーズ。これは、特定のだれかだけでなく、本校に通うすべての子どもたちが等しく輝いてほしいという、みんなの願いを感じます。

行事等の機会に校歌を一緒に歌うたびに、過去から続く子どもたちへの願いを感じます。

私たち教職員一同、この校歌の精神にある子どもたち一人一人の「自分の足で歩む力」を信じ、日々の教育活動に取り組んでいきたいと考えています。保護者の皆様、地域の皆様におかれましても、引き続き温かいご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。